

平成 26 年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立阪南中学校

平成 27 年 3 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 学力向上をめざし、生徒にとって分かりやすく、興味関心を持って集中できるような授業の工夫、改善を図ることはできてきた。学力向上委員会を中心に、授業評価も含め保護者にも分かりやすい学力向上をめざす。
- あいさつや言葉づかい、学校のきまりを守る等の規範意識は育ってきている。学校行事や学年行事の取組、委員会活動や特別活動により、自分にはよいところがあると思う（自尊感情）生徒の割合は高いが、更に高められるよう取り組んでいく。
- 授業・体育的行事・部活動を通して、運動に関わる環境づくりに努めることで、健康や運動に関しての意識は高まっている。更に、体力向上・運動能力向上に向け取り組んでいく。中学校給食の全員喫食に向け、食育について全体計画を見直し計画的に実施していく必要がある。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。
 - ・「学校の授業はわかりやすい」
 - ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、毎年、前年度より向上させる。
 - ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」 (カリキュラム改革関連)
 - ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」 (ガバナンス改革関連)
- 平成 27 年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになっていますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする生徒の割合を、全学年で 80% 以上にする。 (マネジメント改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を 80% 以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。
 - ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」
 - ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」
 - ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」 (カリキュラム改革関連)

- 平成 27 年度の本校アンケート調査で、次の各項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、毎年、前年度より向上させる。
- ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」（カリキュラム改革関連）
 - ・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」（カリキュラム改革関連）
 - ・「P T A と学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」（ガバナンス改革関連）
- 毎年度末の調査において不登校生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。

（カリキュラム改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成 27 年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。 （カリキュラム改革関連）
- 平成 27 年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、平成 24 年度より 5 ポイント以上増加させる。

（カリキュラム改革関連）

- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を毎年、前年度より向上させる。

（カリキュラム改革関連）

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- 本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より 2 ポイント以上増加させる。
- ・「学校の授業はわかりやすい」
 - ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」
- （カリキュラム改革関連）
- 本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。
- ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」
 - ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」
- （ガバナンス改革関連）
- 本年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになっていましたか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする生徒の割合を、全学年で 75% 以上にする。

（マネジメント改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 本年度の本校アンケート調査における、「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を70%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。
- ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」
 - ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」
 - ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の本校アンケート調査で、次の各項目についての項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。
- ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」 (カリキュラム改革関連)
 - ・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」 (カリキュラム改革関連)
 - ・「P T Aと学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」 (ガバナンス改革関連)
- 本年度末の調査において不登校生徒の割合を、昨年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 本年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を昨年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)

3 本年度の自己評価結果の総括

「本校独自の学校アンケート」や「全国学力・学習状況調査の生徒質問紙」等のアンケート結果で示された数値から、年度目標は概ね達成することができた。

【視点 学力向上】各教科で学力向上をめざした授業づくりに丁寧に取り組んだことで、生徒にとってわかりやすい授業となり、授業内容の理解につながった。

【視点 道徳心・社会性の育成】学校の規律が保たれることを目標に、教職員が日々の活動に取り組んでいることが、生徒の規範意識の向上や自尊感情の高まりにつながった。

【視点 健康・体力の保持増進】体育的行事や部活動、保健体育の授業などで、積極的に運動に関わる環境づくりに努めることで、体力向上を図ることができた。

次年度も、生徒・保護者がより満足できる学校生活を送ることができるよう指導を推進する。

大阪市立阪南中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 学力の向上】 ○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。 ・「学校の授業はわかりやすい」 ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」 (カリキュラム改革関連)	
○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。 ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」 ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」 (ガバナンス改革関連)	B
○本年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになりますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする生徒の割合を、全学年で75%以上にする。 (マネジメント改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【習熟度別少人数授業の充実】 生徒の学力・学習意欲を向上させる教科指導のあり方や、指導内容の工夫改善に努め、個に応じた指導の充実を図る。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 国語、数学、英語において、習熟度別授業やTTを実施計画どおりに行う。	
取組内容②【自主学習習慣の確立】 地域ボランティアを活用し、放課後や長期休業中に自主学習や補充学習の場を設定することで生徒の学習を支援する。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 学習会への参加人数を昨年度より増やす。	
取組内容③【言語力や論理的思考能力の育成】 各教科で、多様な言語活動を展開するとともに、朝学活時の読書週間や図書室開放により、言語力の育成を図る。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 11月に読書週間を設定、図書室を昼休みに毎日開放する。	
取組内容④【ICTを活用した教育の推進】 視聴覚機器やICT機器を活用した授業に取り組み、研究・研修を行う。 (カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連)	B
指標 • 半数以上の教科で、ICT機器や視聴覚機器を活用した授業に取り組む。 • ICT機器に関する校内研修会を年間3回以上実施する。	

取組内容⑤【環境を守る意識の醸成】	学校前の道路（グリーンロード）を拠点として、環境に関する取組みを行う。 (カリキュラム改革関連)	B
指標	創作カルタ、植栽等、計画どおり実施する。	
取組内容⑥【授業研究を伴う校内研修の充実】	全教員が研究授業を行い、参観後のチェックシートを活用した協議を充実させることにより、指導力の向上に取り組む。	(マネジメント改革関連)
指標	全教員が年1回以上の研究授業を行うとともに、他の教員の授業を5回以上参観する。	
取組内容⑦【家庭・地域との連携の推進】	・学校の様子を積極的に発信する。 ・PTAや地域との連携を深める。	(ガバナンス改革関連)
指標	・校長室だより、学年だより等を定期的に発行し、学校ホームページを年間100回以上更新する。 ・会議室を整備し、各種会合等の回数を昨年度より増やす。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
① [国] 教室を分けることで一定の成果はあったが、空き教室の不足により他教科他学年との細かい調整が必要だった。また教室を分けずに習熟度別の課題を使用し、工夫して授業を実施した。	
[数] 各学年で習熟度別授業の前後で小テストを実施したが、3学年とも良い成果が出た。また、年度の始めと終わりのアンケートからも生徒の満足度が良くなっている。	
[英] 各学年で基礎コースと発展コースに分けた習熟度別授業を行った。それぞれの学年に応じた教材を用意し、授業形態を工夫した。事前と事後のアンケートによると、「英語の学習はわかる」の項目で肯定的な回答をした生徒が81.9%から87.7%に上昇した。	
②自主学習における担当教員を決め、生徒だけでなく教員への周知を徹底することで、学習会への参加人数は増えた。また、学習支援のため学習会へ参加する教員も昨年度より増えた。	
③4月から図書委員を中心に昼休み（20分）に図書館開館をした。開放日は162日で、利用生徒のべ2406人、本の貸し出しのべ891冊であった。読書週間に学校全体で取り組んだ。古本のリサイクル活動を行った。ただ、1年全員給食開始にあたり、4月はほとんど図書室の利用はできなかった。	
④個別アプリケーションについて希望者の要望に応じて6種類以上の研修を設定し、毎年継続的に実施しており、少しずつICTリテラシーは向上している。理科・技術科・家庭科・音楽科では日常的にICT機器を利用し、美術科では書画カメラとの組み合わせでの研究授業を行った。また、パワーポイントを使用した食育の授業も行った。	
⑤3つのテーマからなる創作カルタは、1年生が文化発表会への取組みとして作成した。下校時、足を止め見る生徒も多く、大阪・阪中・友情に対する意識が一層高まった。また、プランターの花の植え替えは生徒会や環境委員を中心に3回行った。	
⑥年次教員の研究授業を学期に最低1回、合計5回行った。10月には公開授業週間として、全教員による研究授業を行った。	
⑦校長室だより、学年だより、進路だより、生活指導通信、栄養だより、食育通信を定期的に発行して、学校の様子を積極的に発信することができた。また、学校ホームページは目標した数の更新を行った。	

次年度への改善点

- ①〔国〕同じ教室での習熟度別による授業の指導方法をさらに工夫する必要がある。教員間で連携を図り、個に応じた指導を充実させていきたい。
〔数〕教室不足から、別教室の授業はできにくかったが、次年度は学級数減が予想されているため、分割した授業を計画的に行い、より個に応じた指導をしていきたい。
〔英〕教員間でそれぞれの学年で行った教材・形態を相互交流し、次年度に活かしたい。
- ②保護者への学習内容の周知をするための工夫が必要である。また、十分に学習習慣が身についていない生徒への声かけをさらに行う必要がある。
- ③図書委員を中心に、図書室の本・学級文庫の整理と充実を図る。昼休みの開館で教員2人が担当できる体制づくりを図る。次年度は図書室の整備（書棚・机・椅子・ロッカー）をするとともに充足を目指す。本の貸し出しを手書き入力からパソコン入力へと移行し、図書室の本の管理を促進する。
- ④普通教室での利用を想定して、スクリーン・書画カメラ・PCの活用を図る。PC・プロジェクター・書画カメラの利用を推進し、特に体育科などでの活用を図る。
- ⑤定期的にグリーンロードや隣接する公園の清掃活動など、生徒が主体的に考え実践できる取り組みをすることにより、環境を守る意識を高めさせる。
- ⑥全教員による研究授業を行うことができたが、他の教員の授業を5回以上参観するという目標は達成できた教員は少なかった。次年度は全教員ができるだけ多くの授業を参観できるよう工夫し、促進したい。
- ⑦学校ホームページの更新を今年度以上に行う。また、保護者・地域への周知を行いアクセス数の増加を目指す。

大阪市立阪南中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○本年度の本校アンケート調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を70%以上にする。</p> <p>○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」 ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」 ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」 <p>○本年度の本校アンケート調査で、次の各項目についての項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」（カリキュラム改革関連） ・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」（カリキュラム改革関連） ・「P T Aと学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」（ガバナンス改革関連） <p>○本年度末の調査において不登校生徒の割合を、昨年度より減少させる。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【道徳教育の推進】 私たちの道徳や副教材を活用するとともに、体験的な活動を通して生徒が豊かな感性や情操をはぐくみ、基本的な道徳心・規範意識を培う。 (カリキュラム改革関連) (マネジメント改革関連)	B
指標 ・年間指導計画に基づき、各学年の状況に応じて取り組む。 ・道徳の研究授業を年間3回以上実施する。	
取組内容②【人権を尊重する教育の推進】 互いに違いを認め合い、共に生きる力を育てるため、「人権教育・啓発推進計画」に基づき取組みを推進する。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 年間指導計画に基づき、各学年の状況に応じて取り組む。	
取組内容③【特別支援教育の充実】 通常学級に在籍する支援を要する生徒の状況について、全教職員で理解を深め、支援策を考える。 (マネジメント改革関連)	B
指標 生徒状況の冊子を作成し、校内研修を2回実施する。	

取組内容④【いじめ、不登校への対応】		
子どもに寄り添う指導を行い生徒理解に努めるとともに、家庭との連携を密にして対応する。		(カリキュラム改革関連) B
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回の教育相談週間を設ける。 ・毎週末、振り返りシートを実施する。 	
取組内容⑤【防災教育の推進】		
「警備及び防災の計画」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を行い、学校の危機管理体制を機能させる。		(カリキュラム改革関連) B
指標	6月に通常の避難訓練、12月に防災研修（1年）、消防署・区役所・地域の協力を得て防災訓練（2年）を実施する。	
取組内容⑥【美化・環境整備】		
安心・安全な学校づくりに向け、環境整備を行うとともに、生徒の美化意識の向上に努める。		(カリキュラム改革関連) B
指標	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備について毎月点検行う。 学期ごとに大清掃、油引きを行う。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①各学年の状況に応じて、「私たちの道徳」や副教材などの読み物資料を用いて取り組んだ。2学期に、2年次研修を兼ねて校内での研究授業を3回実施した。夏休みに行われた中学校教育研究会の道徳教育研修会に4名が参加した。学校アンケートからも基本的な道徳心や規範意識は向上してきている。	
②3年は長崎修学旅行を通して平和学習、2年は人権・平和に関する学習新聞作り、1年は創作かるた作りなど、各学年の状況に応じて取り組むことができた。また各学年で夏休みの登校日に平和学習に取り組んだ。3年は性感染症について、2年は男女交際について、性教育の取り組みも1学期に実施した。2学期に3年は韓国・朝鮮について学習しPTA人権啓発委員会と連携して民族講師を招き、公演及び講演を見聞きして理解を深めることができた。また、昨年度に引き続き、1年で車椅子やロービジョン眼鏡などの体験、2年で認知症についての学習を阿倍野区社会福祉協議会と連携して行うことができた。学校アンケートからも、人権に対する意識は高まってきていることがうかがえる。	
③「発達障がいのある生徒の理解と支援」について外部より講師を招いて研修会を行った。また、一貫性のある取り組みを継続して行うことを目指し、支援を要する生徒について、手立てを考え、全教員の共通理解を図った。	
④振り返りシートを毎週末に書かせることにより、生徒の変化に気づき対応することができた。1学期は4月、2学期は8月、学期始まりの5日間で放課後の時間を利用して教育相談を実施した。担任と生徒の二者で行い、子どもを知ることで信頼関係を築くことができた。	
⑤1学期には地震及び津波を想定した避難訓練を実施した。2学期には地震による災害に関する研修（1年）及び初期消火・応急処置等の防災訓練（2年）を実施し、防災意識の向上を図った。	
⑥安全な学校を目指し、管理作業員・健康教育部が中心となり、月1回安全点検を行った。また、学期末には全職員で破損箇所調査を実施した。環境委員が学期に1度校内美化を啓発するポスターを制作した。2学期には環境委員による地域の公園の清掃活動を実施した。	

次年度への改善点

- ①全教職員での取り組み方を考え、実践方法の工夫をしていく。また、校内研修・研究授業の持ち方を検討する。
- ②「人権教育・啓発推進計画」および「年間指導計画」の点検と改善を行う。各学年での実践の引継ぎについて検討する。
- ③外部講師を招いた研修を実施し、生徒の理解と支援に役立てていきたい。また、支援を要する生徒に対して、一貫した支援ができるよう、また学年を越えての情報交換等も密にできる工夫が必要である。
- ④次年度も振り返りシートを活用する取り組みを継続し、生徒とコミュニケーションをより密に取っていきたい。
- ⑤防災講話、防災訓練、避難訓練等の実施により、約9割の生徒が災害時の対応について概ね理解していると答えており、防災意識はある程度高まっているが、地域の防災リーダーの育成には至っていない。訓練内容を吟味する必要がある。
- ⑥環境委員がポスターを制作したり、率先して清掃するなど美化意識の向上を図ってきたので、清掃活動については比較的前向きに組んでいるように思われる。しかし、アンケートによると、清掃活動に前向きに取り組んでいると答えた生徒は76%で、昨年度と比べて3ポイント増にとどまっているので、更なる啓発活動が必要である。

大阪市立阪南中学校 平成26年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○本年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○本年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、昨年年より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を昨年度より向上させる。 (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【体育的活動の充実】</p> <p>体育大会を充実させるとともに、各学年で体力づくりのため、スポーツ大会の取組みを行う。 (カリキュラム改革関連)</p>	A
<p>指標 学年の取組みとして、球技大会やマラソン大会を実施する。</p>	
<p>取組内容②【健康な生活習慣の確立】</p> <p>健康への関心を高めるような情報提供や啓発活動を行う。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標 定期健康診断等の機会を利用し、情報提供を行う。 毎月の生徒環境委員会による、ポスター作りを行う。</p>	
<p>取組内容③【健康に関する現代的な課題への対応】</p> <p>自己の心身の発達と変化を理解し、健康に対して正しい知識を身に付けさせる。 (カリキュラム改革関連)</p>	B
<p>指標 警察署と連携し、薬物乱用防止教室を実施する。</p>	
<p>取組内容④【食に関する指導の充実】</p> <p>食について正しい理解と望ましい習慣を身に付けさせ、健康的な生活を営む態度を育てる。 (カリキュラム改革関連)</p>	C
<p>指標 食に関する研究授業を年間2回以上実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ①体育大会では、全体行進、競技、係の仕事など一人一人の生徒が積極的に取り組んだ。3年生の学年種目では、新たに男子は組体、女子はソーラン節を行い活気がある取り組みができた。1、2年マラソン大会では全員が完走し、全体の記録も良くなっており、男子では歴代1位と2位の記録が出た。
- ②学校生活における様々な取り組みを通し、健康な基本的生活習慣の確立を図ることができた。視力検査や歯科検診については受検者全員に配布し、「病気の治療等に努め、健康を意識している」生徒の割合を増加させるため、予防と治療の注意喚起を図った。今年度については、「歯と口の健康教室（1年生対象）」を、学校歯科医と連携を取り実施した。
- ③7月に2年生対象に、阿倍野警察署による薬物乱用防止教室を実施した。1年では3学期にタバコの害についての学習を実施する。
- ④食育への意識を向上させるため、「食育つうしん」や「栄養だより」を発行し、栄養や食生活等について啓発している。日常的には日々の昼食時の放送や掲示物などを通じ、身近な食材に対する基礎知識を高め、季節に応じた食材への理解や周知を図っている。さらに3学期からは、より一層の食に関する関心を高めるため、生徒からの質問の受け付け、昼食時の放送にて質問に答えている。11月に1年生全員を対象に、野菜の栄養等の食に関する授業を実施した。

次年度への改善点

- ①生徒・保護者に感動を与えた3年の学年演技の継続した実施をめざす。
- ②各部各担当と連携して、食育をはじめ、基本的生活習慣の確立に向けた更なる指導が必要である。また、定期健康診断の機会を利用し、「病気の治療等に努め、健康を意識している」生徒の割合を増加させるため、予防と治療の注意喚起や情報提供の充実を図る。歯科については、次年度についても「歯と口の健康教室（1年生対象）」を実施するため、学校歯科医と連携を図る。
- ③次年度も警察と連携し今年度と同様の取り組みを行っていきたい。
- ④各学年において食に関する授業を実施し、授業の内容を反復できるよう昼食時間の放送を利用する。また全学年を対象に、昼食時間の放送、質問箱の設置、「栄養だより」等を通じて、さらに食に関する知識や関心を深めていきたい。

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立阪南中学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・本年度の学校の自己評価（最終評価）結果はおおむね妥当である。
- ・学校の規律が保たれていることが、体育大会や卒業式などの行事においての生徒の機敏な動きを見てよくわかった。そこからも、各視点における取り組みが、教職員全体で対応していこうという姿勢を感じることができた。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

- 本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より 2 ポイント以上増加させる。
 - ・「学校の授業はわかりやすい」
 - ・「先生は教え方をいろいろ工夫している」 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。
 - ・「学校の授業はわかりやすく工夫されている」 (カリキュラム改革関連)
 - ・「学校は生徒や保護者に学年に応じた適切な進路情報を提供している」 (ガバナンス改革関連)
- 本年度の授業アンケート調査で、「授業を受けて、授業の内容がわかるようになっていますか」の項目について、肯定的な回答（そう思う・だいたいそう思う）をする生徒の割合を、全学年で 75% 以上にする。 (マネジメント改革関連)

- ・総体的に学力においては高い結果である。学校アンケート調査の学習に関する項目において、年度目標を概ね上回っている。今後も更なる学力の向上を目指してもらいたい。
- ・ I C T 機器を活用した授業の充実において、タブレットや書画カメラ等の機器があると、授業ではよりきめ細かな指導が期待できる。しかし、教員も授業のための様々な研修を受けたり、授業方法の研究をする必要があるだろう。

年度目標：道徳心・社会性の育成

- 本年度の本校アンケート調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）をする生徒の割合を 70% 以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の本校アンケート調査で、次の各項目について肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする生徒の割合を、昨年度より 2 ポイント以上増加させる。
 - ・「あいさつや言葉づかいはきちんとできている」
 - ・「学校のきまりを守り、公共物、私物を問わず大切にしている」
 - ・「清掃活動に積極的に取り組んでいる」 (カリキュラム改革関連)
- 本年度の本校アンケート調査で、次の各項目についての項目について、肯定的な回答（そう思う・ある程度そう思う）をする保護者の割合を、昨年度より向上させる。
 - ・「阪中生は、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしている」 (カリキュラム改革関連)

・「学校では、人権尊重の立場に立った教育活動が行われている」 (カリキュラム改革関連)

・「PTAと学校は、相互に協力し教育向上に努めようとしている」 (ガバナンス改革関連)

○本年度末の調査において不登校生徒の割合を、昨年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)

・「自分にはよいところがある」と肯定的に回答する生徒が、大阪市と比べても非常に高い。

・集団としての秩序が保たれていることで、全般的に落ち着いた学校生活を過ごしていることに繋がっていると考えられる。

・今後も、道徳教育の充実した取り組みを推進してもらいたい。

・地域、区役所、消防署等と連携した、防災教育の取組が充実している。

・様々な取り組みで、外部から専門の知識を持った方を呼ぶとより効果的になると考える。

年度目標：健康・体力の保持増進

○本年度の本校アンケート調査で、「病気の治療などに努め、健康を意識している」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする生徒の割合を、昨年度より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)

○本年度の本校アンケート調査で、「自分の子どもの心身の健康について、学校へ気軽に相談できる」の項目について、肯定的な回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）をする保護者の割合を、平成24年度より2ポイント以上増加させる。 (カリキュラム改革関連)

○全国体力・運動能力、運動習慣調査における体力合計点の平均を昨年度より向上させる。

(カリキュラム改革関連)

・運動やスポーツをすることは「好き」であるのに、「苦手」意識を持っているのは気になる。その要因として考えられるのは、ずば抜けて能力の高い生徒とに比べていることが考えられる。

・中学校給食が次年度は2学年が、再来年度は全校で全員喫食が実施される。食に関する指導のについて、今後充実を図ってほしい。

3 今後の学校運営についての意見

・様々な教育改革が想像以上のスピードで進んでいる。今が先生方にとって大変な時期であると思いますが、子どもたちが落ち着いた状況で学習ができるようにお願いしたい。

・生徒、保護者、地域から求められるものが多くなってきていますが、先生方も疲弊せずに、体育大会・文化発表会・合唱コンクールの学校行事等の取組みの充実をお願いしたい。

・本年度の卒業式はすばらしかった。今後も、3年間を見据えて計画的な学校運営をお願いする。